

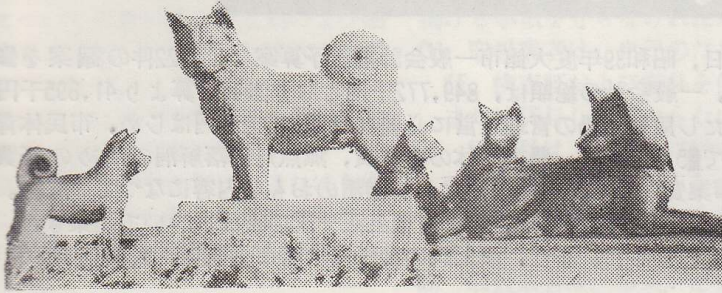
編集と発行 大館市役所

くらしのメモ (12月)

1964年もあとわずかで終わろうとしています。ことしはとくに、東京オリンピック大会、佐藤内閣の成立、米国大統領選挙、ソ連の政変など、内外ともめまぐるしく過ぎ去った1年であります。

年の暮れを控えて家の内外、環境の整理など、気ぜわしいことでしょうか、1日、ゆつくり休んで、家族全員でこの1年を反省したり、すぐにやつてくる新しい正月の準備などを話し合ったりすることも意味が深いと思います。

さて、寒くなると外出もおっくうになりがちで部屋にこもりがちです。冬期でのいちばん健康的な室温は17度から20度までが適温とされています。室内の暖房のために用いるプロパンガス、石油ストーブ、炭火の不完全燃焼による中毒や、お子さんたちのヤケドには十分気をつけて楽しい正月を迎えたいものです。

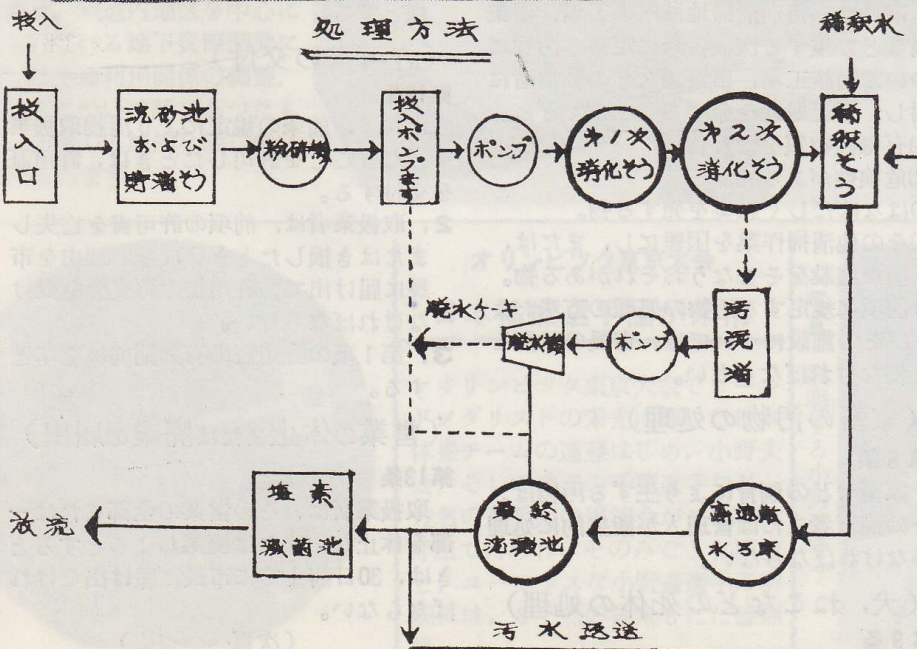


み と と に 完 成

大館市し尿処理場



12月1日から操業



このたび市の清掃センターの一部であるし尿処理場が完成し、その竣工式が11月30日、多数の関係者が出席して行われました。修祓式のあと、市長が機械室操作盤のボタンを押すと、ここに昭和38年10月1日着工以来、13ヶ月ぶりに完成の喜びも高らかに全機械が廻転しはじめました。

このし尿処理場は、防臭、脱臭、清潔にし尿を処理するために嫌気性加温式2段階消化法という方法を用いて、1日5万人分のし尿(50キロリットル)を自動制御によつて完全無害になるまで処理されるものです。

このし尿処理場の完成で、県北の経済文化の中心地としての大館市も、名実ともに近代衛生都市としてその第一歩をふみきつたわけで、住民福祉のための近代都市をめざす大館市の将来は日増しに明るさを照らし出しています。